

脊髄モニタリング波形レポート

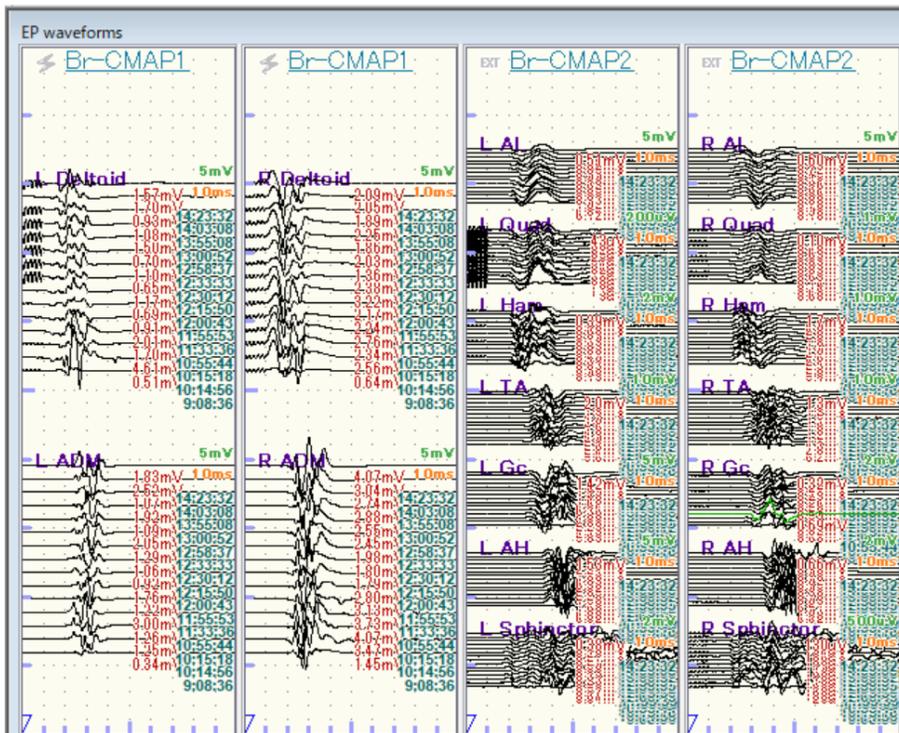
施設名: ○○病院

過去5年以内に行われた手術とする。同一患者でTc-MEPとSSEPを行った場合であっても、(両方の波形を提出しても)1例とする。

症例番号	#####	主治医	####
性別	女性	検者	####
年齢	18歳	手術日	#年 #月 #日
診断	特発性側弯症		
術式	矯正固定術		
波形コメント	<p>記録電位: Tc-MEP</p> <p>記録部位: Tc-MEPを行っていない施設では、SSEPなどの他のModalityで可。</p> <p>上肢(コントロール): 三角筋, 短母指外転筋</p> <p>下肢: 長内転筋、大腿四頭筋、大腿屈筋、前脛骨筋、腓腹筋、母趾外転筋 外肛門括約筋</p> <p>所見: 波形導出時より、全筋導出可能。展開、スクリー設置、片側ロッド設置、矯正、ロッド締結まで、終始波形変化はみとめず。最終的に波形悪化は認めなかった。</p> <p>判定: 波形悪化なし、術後麻痺なし→True negative症例</p>		

モニタリング波形 貼付部

手術開始～術中操作(除圧操作・スクリー操作など)～終了までの複数回波形が必要。



・波形一覧が貼付不可の場合、波形キャプチャーでも可。(ただし術中の手技に伴う複数回波形を載せること)

・波形提出不可の機種の場合

Amplitudeの変化を示せるデータ提出と、モニタリングに関する論文1篇以上(自著・共著いずれでも可能であるが、過去10年以内のもの)を提出すること。

署名

○×△